

3月21日
ホストファミリーと対面

12時間のフライトを終えフランスに到着。その後、コンピエーニュ市に移動し、市議会議場で3日間お世話になるホストファミリーと対面しました。期待と不安でいっぱいでしたが、ホストファミリーの温かい笑顔に迎えられ、不安は一瞬にして消え去りました。



▲市議会議場での対面式

3月21日（1日目）
出発式

午前5時30分、期待と不安を胸に保護者や市国際交流協会役員に見送られ、白河市を出発しました。



▲出発式（市役所本庁舎）

2月4日・18日、3月4日・17日
事前研修

フランス人ノワロー・ジョン＝パスカルさんを講師に迎え、フランス語の研修を行いました。初めて聞く生のフランス語に戸惑いながらも、生徒たちは熱心に学んでいました。また、ピエール・ダリ高校との交流会で披露する歌と踊りも一生懸命練習しました。



▲フランス語講座



▲ホストファミリーとの対面



▲藤田団長のあいさつ



▲交流会で披露する踊りの練習

■中学生国際交流事業派遣生

安西 雅さん (白二中)	佐藤 歩美さん (白二中)	芳賀 優綺さん (中央中)
五十嵐 優華さん (中央中)	柴原 力真さん (五箇中)	深津 日向子さん (白二中)
今井 かりんさん (東北中)	鈴木 朝登さん (南 中)	深谷 はる奈さん (中央中)
長 田 藍子さん (中央中)	鈴木 万璃菜さん (南 中)	藤田 明日実さん (中央中)
笠原 舞乃さん (五箇中)	田之上 桜子さん (南 中)	古川 理穂さん (中央中)
金澤 由奈さん (東 中)	寺田 智博さん (白二中)	星 怜奈さん (東北中)
菅野 翔大さん (中央中)	中川 涼可さん (表郷中)	山口 奈々美さん (大信中)

団長 市国際交流協会
藤田 龍文さん 理事

市国際交流協会（本庁舎企画政策課内） ☎@1111 内2326



▲しらかわんも参加したピエール・ダリ高校との交流会

コンピエーニュ市の紹介

- 人口 約45,000人
- 面積 53.10km²
- 位置 フランス北部（ピカルディ州オワーズ県）
- 特徴 パリの北東約80kmに位置し、オワーズ川沿いに広がる森林に囲まれた美しい田園都市。



交通の便に恵まれ、化粧品、食品、自動車部品工場などが立地している。歴代国王や皇帝の狩猟地であったことから、コンピエーニュ宮殿など数多くの文化遺産が残っている。イギリスとの百年戦争の中、劣勢のフランスを勝利に導いたジャンヌ・ダルクが捕らえられた地としても有名。

姉妹都市交流の経緯

1987年に白坂に進出した日本ルセル白河工場（現在の「味の素製薬㈱」）の親会社の工場がコンピエーニュ市にあったことが縁で、1988年に姉妹都市を締結。以来、両市および市国際交流協会による市民レベルでの交流を深め、現在に至っています。



▲コンピエーニュ市章



中学生国際交流事業は、異国の文化や社会などに直接触れる体験を通して見聞を広げ、国際社会のなかで活躍できる人材を育成することを目的としています。平成26年度は中学2年生21人が、3月21日から27日までの7日間、姉妹都市であるフランスのコンピエーニュ市やパリ市を訪問しました。今月号では、その体験の内容や感想の一部を紹介します。

フランス・コンピエーニュ体験記

言葉や文化の壁を超えた心の交流



▲コンピエーニュ市庁舎

中学生国際交流事業

5月22日
帰国報告会

保護者や協会役員の前で派遣生が、フランスでの感想を発表しました。



▲帰国報告会で感想を話す生徒

3月27日（7日目）
帰国

深夜、無事白河に到着し、保護者や協会役員に帰国を報告しました。



▲帰国の報告（市役所本庁舎）

3月25・26日（5・6日目）
パリ市内を見学

フランスを代表するお菓子、マカロン・ガレット作りを体験。また、ルーブル美術館やモンマルトルの丘、ノートルダム大聖堂等を見学しました。



▲マカロン・ガレット作り体験

3月24日（4日目）
ホストファミリーとの別れ

3日間お世話になったホストファミリーとの別れを惜しみながら、コンピエーニュ市を後にし、パリ市へ移動しました。



▲ホストファミリーとの別れ

3月23日（3日目）
ピエール・ダリ高校との交流

以前から親交のあるピエール・ダリ高校との交流会に参加し、研修のときから一生懸命練習してきた歌と踊りを披露しました。しらかわんも交流会に参加してくれました。



▲ピエール・ダリ高校の生徒と一緒に

3月22日（2日目）
ホストファミリーとの交流

ホストファミリーに案内され、コンピエーニュ市内等を見学しました。



▲ホストファミリー宅



▲帰国報告会



▲ルーブル美術館内



▲エトワール凱旋門前

「7日間」という短い期間でしたが、ホームステイや現地高校生たちとの交流を通して、多くの優しさや文化に触れ、派遣生たちは見違えるほど成長しました。この貴重な体験は、派遣生たちの将来につながる糧となることでしょう。



■フランスでの体験の感想



- ▷何事も諦める前に、自分で考え、積極的に行動することが大切だと思った。
- ▷たくさんの人と出会って、自分の世界が広がった。
- ▷相手の文化を尊重し合うことは相手との仲を深めることにつながる事が分かった。
- ▷お互いの国の文化を尊重し合うことの大切さを感じることができた。

- ▷将来海外に出てみたいという夢ができた。
- ▷自分の目で初めてフランスという国を見て、今まで感じたことのないような驚きと感動に心揺さぶられた。
- ▷今回の経験をいかして、もっと自分の視野を広げ、将来通訳などの仕事について外国人観光客をもてなしたい。
- ▷フランスに行ったことで日本の平和さが分かった、これからも私達の手で守っていきたいと思った。

■ホームステイの感想



- ▷コンピエーニュ市は、白河と似た落ち着きがありゆったりとした雰囲気、自分の故郷にいるように思えた。ホストファミリーの家族として過ごした日々は、夢のような時間だった。
- ▷最初は言葉の壁を感じたが、相手の目を見て話すことで気持ちが伝わるようになって、大きな自信となった。

- ▷言葉を使わなくても、ジェスチャーや表情で、考えや気持ちを伝えることができ安心した。
- ▷日本から来た私を本当の家族のように包み込んでくれて、心が温かい気持ちでいっぱいになった。
- ▷ホストファミリーの温かさ、優しさに触れ、異国の文化を知ることができて、とても新鮮だった。
- ▷最初は言葉の壁を感じたが、心で語り合えば分かり合えることを知り自信につながった。